

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 DRESDNER PHILHARMONIE

1870年に創立され、既に130年の歴史を誇るドイツの名門オーケストラ。

1871年のペテルスブルグ客演をはじめ、ヨーロッパ各国、1909年のアメリカ客演など早くから国外公演を積極的に行ってきた。

また1888年に、チャイコフスキーが自らの指揮で交響曲第4番を、そして89年にはドヴォルザークが交響曲第5番を演奏したのを始め、ブラームス、ハンス・フォン・ビューロー、R.シュトラウス、ラフマニノフなどとも共演している。

第二次世界大戦のため一時解散を余儀なくされたが戦後再編成された。クルト・マズア、ギュンター・ヘルビヒらが音楽監督に就任し安定した実力を誇るようになった。ヘルベルト・ケーゲルの時代には多くの録音を残し高い評価を得た。

ドイツ民主化後はイヨルグ＝ペーター・ヴァイグレそして1994年にはミッシェル・ブラソンを首席指揮者に迎えている。

ドイツらしい味わいの中に、ドレスデン独特の柔らかい響きと、同じドレスデンのシュターツカペレとは異なる新鮮さと現代感覚を兼ね備えた演奏は、世界中で高い評価を得ている。

